

パイプマウントスクリーン

取付マニュアル

このたびはお買い上げ頂き有難うございます。

RY79023

※ご使用前に必ずお読み下さい

◎整備士の資格をお持ちでない方は取り付けを行わないで下さい。

取り付けに関してのお問い合わせはご購入者ではなく取り付けを担当した整備士の方からご連絡下さい。

◎取扱説明書に記載されている指示を無視した使用により事故や損害が生じた場合

当社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け・使用し、当製品以外に不具合が生じても当社製品以外の部品の保証はどのような事項も一切負いかねます。

△注意 この表示の内容を無視した取扱いをすると、人的・物的損害が想定される内容を表示しています

- ・作業を行う際は、イグニッションをオフにし、エンジン・マフラーが冷えている時に行って下さい
- ・取り付けの際は、その作業に適した工具を使用して下さい。サイズの異なる工具を使用しますと部品の破損・ケガの原因となります。
- ・製品・車体にはエッジ・突起がある場合があります。作業は十分に注意をして行って下さい。

△警告 この表示の内容を無視した取扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性がある内容を示しています

- ・技術・知識の無い方は、作業を行わないで下さい(取り付けミス・部品破損等により事故につながる恐れがあります)
- ・作業を行う際は、水平な場所に車両を安定させ、安全に行って下さい(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります)
- ・作業を行う際は、一切の火気を避けて行って下さい(ガソリンへの引火により爆発・火災の原因となります)
- ・製品取り付け前の点検で製品および車両に破損箇所が見つかった場合、無理に取り付け作業を行わないで下さい(車両・製品の破損により事故につながる恐れがあります)
- ・製品取り付け後、走行の際には必ず各部を点検し必要な場合にはネジの増し締め等を行って下さい(部品の脱落などで事故につながる恐れがあります)
- ・走行中、異常が生じた場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ走行を中止して下さい(事故につながる恐れがあります)
- ・点検・整備は取扱説明書またはサービスマニュアル等の点検方法・要領を守り正しく行って下さい(不適当な点検整備は事故につながる恐れがあります)
- ・指定した部品以外の使用は一切行わないで下さい(部品破損により事故につながる恐れがあります)
- ・規定トルクはトルクレンチを用いて確実に作業をして下さい(ボルト・ナットの破損、部品の脱落などで事故につながる恐れがあります)

◎デザイン・仕様・価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎返品・交換に関しては製品に不良が認められた場合に限り、ご購入後1週間以内とさせていただきます。但し、加工された商品、及び取付工賃やバイクに乗れない等の二次的な部分に関しての保証は対象外とさせていただきます。

◎指示している部品以外との組み合わせによるトラブルの保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいようお願い致します。

株式会社 ラフ&ロードスポーツ

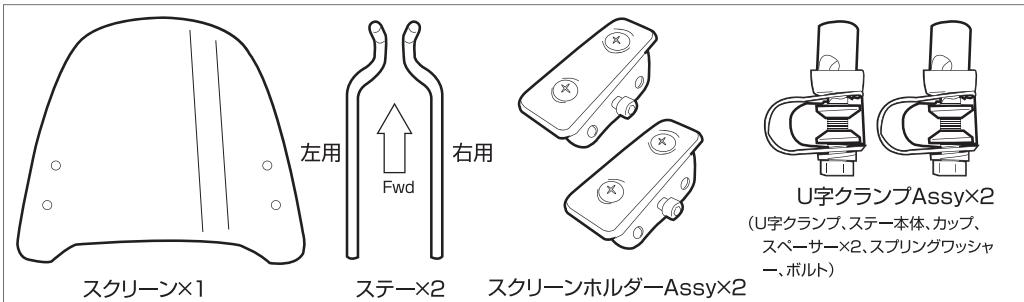
〒234-0053 神奈川県横浜市港南区日野中央1-16-8

PHONE 045-840-6633 IP PHONE 050-3775-8524

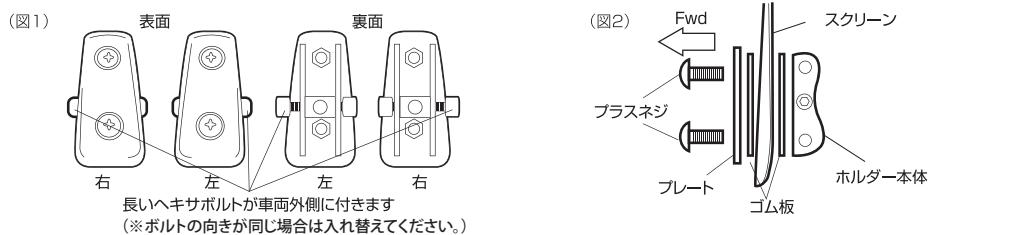
<http://www.rough-and-road.co.jp>

◎製品内容

こちらの製品は下記の部品で構成されております。取付け前に必ず部品の内容・個数を確認して下さい。



1 スクリーンの組み立て

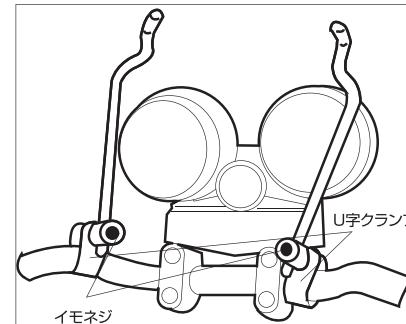
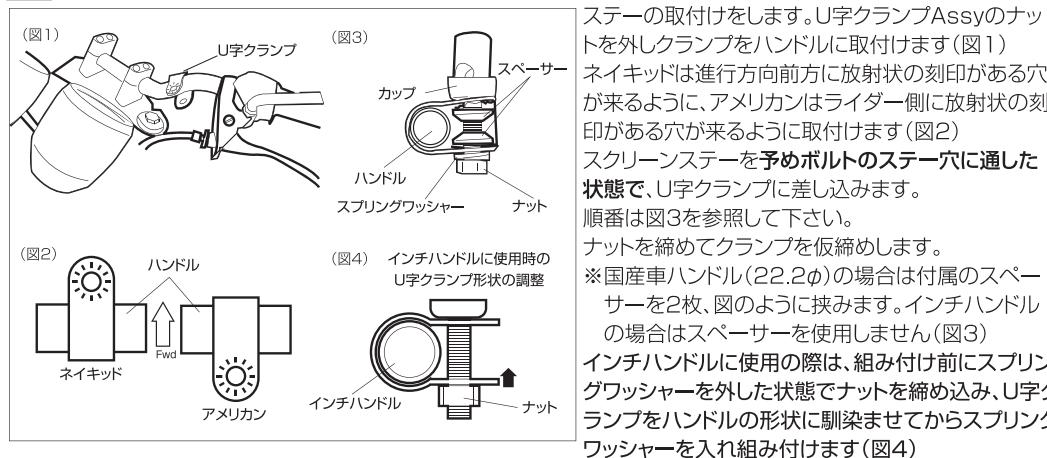


スクリーンホルダーには上下左右があります。先端が細くなった方が上、裏返した時にヘキサボルトが長い方が車両の外側を向きます。プラスネジ2個を外して、スクリーンホルダーを分解します。(図1)

*ゴム板、ネジの紛失に注意して下さい。

スクリーンを組み立てます。スクリーンをゴム板で挟み、車両前方はプレート、ライダー側にホルダー本体で挟み込みプラスネジで固定します。左右両側を取り付けます(図2)

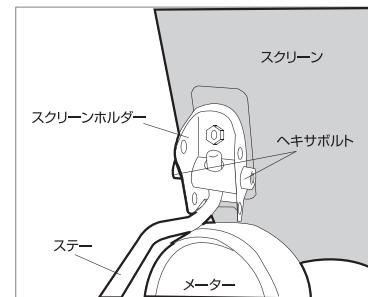
2 ステーの取付け



スクリーンステーは左右の別があります。車体前方に向かって内側に切れ込み、上方に立ち上がる向きで取り付けます(上イラストを参照)
ステーの向きが確認出来ましたら、クランプ本体上部のイモネジをヘキサゴンレンチで仮締めします。

*この時点ではU字クランプおよびステーは遊びがある状態にします。
きっちり締め付けてしまうと、後で全体の微調整が効かなくなります。ステーが落下しない程度に締め付けて下さい。

3 スクリーンの取付け



スクリーンを取付けます。

スクリーンホルダーの穴にステーを通します。ホルダーについているヘキサボルトは、内側はステーに当たる位置まで締め込み、外側のヘキサボルトはステーを固定するための本締め時に使用します。

*この時点ではまだ本締めしません。スクリーンがぐらつかない程度に締めて下さい。

△各部の本締めが終わっていないので、スクリーンやその他のパーツの落下に注意する事。

4 本締め



作業の最終段階の本締めを行います。スクリーンの位置・高さを決めます。

車体にまたがってスクリーンの角度

やスクリーンがきちんと前方に向いているか等も確認して下さい。
好みの位置が決定したら、各部の本締めの作業となります。

- ・ハンドルバーとU字クランプの固定(U字クランプの刻印と、カップの刻印を噛み合わせて確実に固定します)
- ・U字クランプとステーの固定
- ・ステーとスクリーンホルダーとの固定
- ・スクリーンとスクリーンホルダーの位置・角度調整

・スクリーンとスクリーンホルダーの固定の再確認

・全体のガタつきをチェックし、必要があれば調整する

※最終的な締め込みで、再度クランプの締め付けの状態を確認します。しっかりと締め込むことによってクランプがきちんとハンドルをホールドしていることを確認して下さい。

△ 本製品取付け後は、運行前および定期的に各部のガタつきのチェック・増し締めを行う事。

△ 走行中にガタつきが見られた場合には無理に走行せず、すぐに車両を停止し正しく取付け直す事。